

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2022/08/04 ～2022/09/30)

1. 勉学の状況

日本と比べ、教員と生徒の距離感が非常に近いように感じます。質問や発言が非常にしやすいです。

• Advanced Summer Course(サマーコース)

このクラスでは、英語での効果的なプレゼンテーションの仕方やディベートの方法、APAスタイルというレポートや論文の書き方などを教わりました。また、サマーコースを通して、学期前に友達を作ることができました。

• Survival Finnish1

フィンランド語を1から学ぶ初歩的なクラスです。自己紹介の仕方や数の数え方、レストランでの注文の仕方などを習いました。ペアを作って自己紹介をし合うなどクラスメイトとのペアワークも多いため、楽しくフィンランド語を学ぶことができます。

• Education in Finland

この授業では、フィンランドの教育制度について学びます。毎回、幼児教育や初等教育など、その分野の教授の講義を聴くオムニバス形式です。最後には、グループごとに、自国とフィンランドの教育制度を比較して発表をします。

• Each One Teach One

千葉大学のLEXプログラム同様、学生同士が言語を教え合う授業です。日本語を学びたいフィンランド人の人がパートナーになり、日本語を教え、フィンランド語を教わっています。留学生活ではフィンランド人と関わる機会は少ないため、この授業を通して、現地の学生と交流する機会を作る良い機会となったと実感しています。

• Special Education Learning Environments

この授業ではペアを組み、ペアごとに近くの小学校に授業見学をしに行きます。まだ学校に行く日程は調節中なので、次のレポートで授業見学の感想を書きます。

• Issues in Education

フィンランドに限らず、世界が抱える教育における課題にはどのようなものがあるのかを学びます。

2. 生活の状況

8月は気温も高く、半袖でも過ごすことができましたが、9月に入ると急に寒くなり、10月の今では朝や夜は5度近くになることもあり、ニットの上にダウンを着ています。

学生寮は非常に綺麗で、ジムや学食、サウナ、自習室など無料で使える施設も多く、充実した学生生活、寮生活を送ることができています。ランドリールームも朝8時～夜9時まで空いており、十分な数が確保されています。学生寮には留学生が多く住んでいる為、土日には一緒に料理を作ったり、映画を見たりすることもあります。

物価は日本と比べて非常に高く、気軽に外食はできませんが、学校の図書館の中にある学食や学生寮近くの学食は平日でも19時まで空いており、学生料金で食べられるので、食事に困ることはありません。

さらに、最も驚いたことは、学生向けイベントの多さです。毎週何らかの団体が学生向けのイベントを行っています。シナモンロールやアップルパイ作り、サウナ後に湖への飛び込み、ブルーベリー狩り、ハイキングなどフィンランドでしかできない体験ができます。また、時間がある際は、先生に紹介してもらった街の移民支援センターにボランティアをしに行っています。

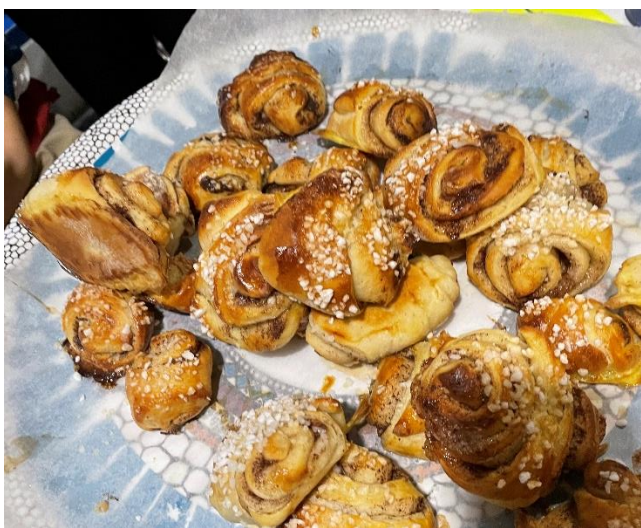


↑
街のライトアップイベント



↑
ハイキングで休憩中に撮った写真

留学生向けイベントで作ったシナモンロール



友達と一緒に作ったフルーツ大福

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2022/10/1 ～2022/11/30)

1. 勉学の状況

・ Cultural Diversity in Education and Pedagogy

この授業では、授業名の通り、教育における多文化について学習します。最初に、教授の講義があり、その後ディスカッションをする、というスタイルです。さらに、講義とは別で、ディスカッションを2時間ほどする授業もあります。様々な国から来た他の留学生と話すことで、各国の教育状況を知ることが出来るので、非常に面白いです。ディスカッションをすることで、自分の考えには全く無かった考え方に触れることができ、自分の思考の幅も広がるように思います。

・ Language in Learning Environments

この授業では、教育環境を主なテーマとして扱います。学校では、どのような環境が生徒たちの心身の安定、成長に適しているのか、などを話し合います。この授業では、様々な国の工夫された教室環境の絵を見て、どのような効果をもたらされるのか、など自由に話し合いました。

・ Education in Finland

前回の報告書にも書きましたが、この授業では、フィンランドの教育制度の概要を知ることが出来ます。基本的には講義形式で、毎回違う先生方が講義をしてくれます。最後には、グループを組み、自身の出身国とフィンランドの教育を比較したプレゼンテーションをしました。

・ Issues in Education

この授業は、オンデマンド形式です。主に過去のセミナーを見て、自分が感じたこと、考えたことを書きます。内容はセミナーによって様々ですが、「International education for all」等、様々な角度から教育をとらえること、教育における問題について取り扱われています。

・ Special Education Learning Environments

授業名の通り、ADHD など、サポートを必要とする子供たちへの対応について考えます。30 時間ほど、小学校での見学をし、実際の教育現場を見ることが出来ます。小学校の見学では、様々な授業を見学し、学校の施設を子供たちが英語で紹介してくれました。

(学校見学で生徒が折ってくれた狐)



・ Each One Teach One

前回の報告書にも書きましたが、これは、千葉大学の Language Exchange Program 同様、互いの母語、母国語を教え合うものです。私は日本語を教え、フィンランド語を教えてもらっています。ユヴァスキュラ大学には、日本語の授業もあり、日本のアニメなどの文化に興味を持っている人も多く、日本語を学びたいというニーズは多くあるように感じます。留学生と関わる機会は多くありますが、フィンランド出身の方と話をする機会は多くないので、関わりたい方にはおすすめします！

2. 生活の状況

ユヴァスキュラでは、11月下旬から雪が降り始めました。12月上旬現在の気温は、-5度くらいです。外は寒いですが、室内は非常に温かいです。

11月上旬には、大学主催で日フィンイベントが行われ、寿司、書道や折り紙、J-POP、空手など、日本の様々な文化が紹介されました。

また、フィンランド名物のサーモンスープを作ったり、Glögi(フィンランドではクリスマスシーズンの飲み物)を飲んだりして楽しんでいます。



↑
(フィンランドではクリスマス定番の飲み物、
Glögi)



↑
(名物サーモンスープ)



↑
(ジンジャーブレッドもクリスマス定番のお菓子！
自分たちでデコレーションすることもあります)



海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2022/12/01 ～2023/12/28)

1. 勉学の状況

各授業の詳しい内容は 1 つ前の報告書に書いたもので、ここでは主に最終課題や最終プレゼンについて書いています。

• Cultural Diversity in Education and Pedagogy

この授業では、教育における多様性や多文化について学習しました。この授業は留学生を対象とした授業と異なり、正規生も多く履修していました。留学中、多くの授業は留学生を対象としているので、あまり現地の学生と授業内で関わることはありません。しかし、この授業では正規生と関わることができ、教員を目指している現地の学生からフィンランドの教育現場の現状などの話も聞くことができ、貴重な機会となりました。

• Language in Learning Environments

この授業は、教育環境を主なテーマとして扱います。最後に各グループの発表がありました。教育に様々な色を取り入れ多様性を尊重することの大切さを教えるといった提案や、大学の図書館の改善提案など、ターゲットの年齢層も幼稚園から大学生までと広く、自分にはなかったアイデアがたくさんあり、非常に面白かったです。勉強になった反面、グループ発表の準備には多くの時間がかかりました。グループ全員のスケジュールを合わせることで、どのような文脈で発表するのかなど、多くのことを話し合い、結果、面白い教育環境の提案ができました。

• Education in Finland

この授業では、フィンランドの教育制度について学びます。最後に、自身の出身国と学んだこと(フィンランドの教育制度)の比較をし、動画を作り、Moodle 上でプレゼンテーションをしました。この授業は内容の広さから受講人数が多く、全てのグループの動画を見て、コメントすることが少し大変だと感じました。

• Issues in Education

この授業は、シラバスには対面形式と書かれていますが、実際にはオンデマンド方式でした。主に過去のセミナーを見て、自分が感じたことや考えたことを書き、Learning Diary として最後に提出します。Learning Diary に加えて、自身でテーマを選び最終エッセイを提出します。オンデマンド授業なので、自分のペースで進められることは魅力ですが、課題の分量は非常に多い

ので、計画をしっかりと立てて進めていかないと、最後に泣くことになります。

• Special Education Learning Environments

ADHD など、学校生活でサポートを必要とする子供たちへの対応方法について考える授業です。30 時間の授業観察を終え、各グループが授業見学で学んだことを 2 分程度の動画にまとめ、各グループの発表を見て、Moodle 内で意見交換をしました。さらに、最後の授業では、Special Education をめぐる様々な問題や学校見学を通して感じたことについて、4 人 1 組でディスカッションを行いました。

• Each One Teach One (EOTO)

EOTO のパートナーが 12 月の 1 週目に日本語能力試験の受験を控えていたこともあり、私たちは非常に早いペースで活動を進めていました。この授業では、決まった時間数の活動が単位取得には必須とされています。さらに、毎回のミーティングの後には、ミーティングでどのようなことを行ったのか、次のミーティングではどのようなことを学びたいと考えているのか、そのために何を準備するのか、など Learning Diary を書かなければなりません。さらに、最後には担当教員との面談もあります。活動の内容は非常に自由で、机に向かってお互いに言語を教え合うだけでなく、一緒に料理を作ったり、縫い物をしたりと、それぞれのペアが多様な方法で言語を学んでいます。

2. 生活の状況

12 月にもなると、寒さや暗さに完全に順応してきました。雪の量も増え、毎朝除雪車が集めた雪が積もり、雪の山ができました。子供たちがその山に上ったり穴を開けてトンネルを作ったりして遊んでいます。湖も凍り、湖の上を歩くことができました。

また、クリスマスが近づくと、半年間で留学を終える人もそうでない人も実家に帰る人が多くいます。（日本以外の国では、日本のお正月同様、家族全員で過ごす人がほとんどです。）自身も半年間の留学だった為、多くの友達としばらく離ればなれになってしまうことは非常に寂しかったですが、最後に一緒にご飯を食べに行ったり、お互いに手紙を渡しあったりして、楽しい思い出をつくることができました。

雪が集められてできた山に登ったとき



ハンガリー出身の友達がサプライズで作ってくれた折り紙



日本食が好きな友達と一緒に、肉じゃがとお味噌汁と白いご飯を作って食べました！



←友達手作りの靴下！すごく可愛いです！！
1日で作ったそう...すごい...



授業見学をしていたクラスの生徒からもらったクリスマスカード！！
全て生徒たちの手作りで、裏には英語でメッセージも書かれていました！可愛い！！